

Q 学校評議員制度の目的と概要を示せ

A 開かれた学校作りを推進していくもの



阿野 二郎議員

この制度は学校が家庭や地域と一体になり、子どもの健やかな成長をはかっていくという観点から大変意義ある制度と聞いているが、目的と概要はどのようなものか。

開かれた学校づくり

教育長

目的は学校長が保護者や地域住民の方々の意見や助言を聞き、開かれた学校づくりを推進していくこととするものです。学校評議員委員は各学校ごとに校長の求めに応じ、学校運営について意見を述べるもので、教育に関する理解と識見を有する者から校長の推薦に基づき教育委員会が委嘱することになっている。

内容と成果は

阿野議員

現在進めている学校での内容と成果はどうなっているか。

よい成果が

報告されている

教育長

評議員は各学校長が必要に応じて招集し、学校経営の方針や校内行事などを説明し、意見や助言をいただいております。成果は教職員が気づきにくい学校の状況や児童・生徒のあいさつ、マナーなど地域住民から見た視点で意見や家庭教育の在り方などについて具体的な意見をいただき、成果に結びつく点が多くあげられている。

今後の取り組みは

阿野議員

今後この制度をどのように進めていく考えか。

さらに充実をはかっていく

教育長

学校運営や教育活動の充実・進展に努め、学舎融合による教育など、学校がより地域と密着した取り組みができるよう体制を整えて、今後も制度の充実をはかる。

学校現場での給食・食中毒の指導体制は万全か

阿野議員

最近子ども達の食生活の乱れが指摘されるなか、学校給食の果す役割は重要である。学校現場での給食及び食中毒への指導体制はどうか。

食事のマナーや

衛生面の指導を重視している

教育長

給食指導は給食の意義、食事のマナー等を中心に指導している。

例えば「給食だより」を参考に献立の紹介や素材の話などを給食時に取り入れ、楽しく給食を食べる雰囲気作りにも努めている。食事のマナー面では箸やスプーンの使い方、食器の持ち方、配膳の仕方や姿勢などを指導しており、食中毒については予防対策で食事前の手洗い、うがいの励行など衛生面を重視した指導に徹している。

給食の地元産利用状況は

阿野議員

学校給食の食材購入は地元業者を利用していると思うが、地元産品をどの程度使用しているか。

可能な限り地元産を

教育長

食材は大部分を県学校給食会より購入しているが、可能な限り野菜、卵、肉、魚等は地元業者から購入しており、今後も地

元で取れる食材の活用をはかり給食運営に努めます。

地産地消の日を設定せよ

阿野議員

地元で生産される産品のみを食材にした「地産地消給食の日」を設ける考えはないか。

前向きに検討する

教育長

栄養士やセンター職員で話し合い、前向きに検討していきたい。



学校給食風景